

交流をはぐくむ作品

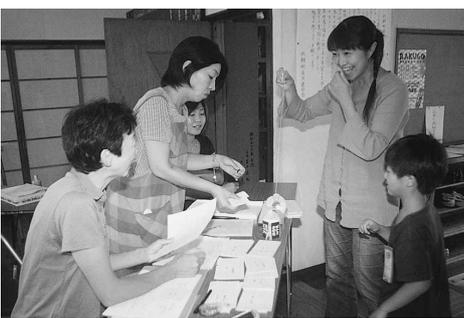


親子3世代で、石山美里さんが出展した書「川越祭り」「雲海」を鑑賞

九月十五日から十七日までの三日間、六軒町連合公民館主催「第二回全世代交流制作展」が、六軒町連合公民館（六軒町一丁目）で行われました。同制作展には、写真・手芸・粘土細工・書道など、六軒町一丁目・二丁目に住んでいる四歳から九十歳の皆さんが作成した、趣向を凝らした作品が九十六点展示されました。

取材当日は、町内外の皆さんが会場に訪れ、作品に見入っていました。「趣味で作っている物を発表する場はあまりないので、皆さんに自分で作った作品を見てもらえるのはうれしいですね。また、孫もいっしょに作品を展示したことで、以前にも増して会話が增えました」と手芸による作品を出展した石山かつさん（84歳・六軒町二丁目）。孫の石山美里さん（15歳）は、「中学生最後の思い出に作品を出しました」と照れながら話していました。

同制作展は、高齢者から子どもまでが、同じ活動を通じて交流を深められるようにと開催しました。また、さまざまな世代の皆さんの日ごろ見ることのできない隠された技術や才能の、発表の場となっています。「以前グラウンドゴルフの大会で、高齢者から若者までがいっしょにプレーをしました。世代を超えて行なった大会はとても楽しく感じ、それ以来、運動だけではなく、文化の面でも各世代間の交流が必要なのではない



作品の受け付けを行う、育成会・民生委員の皆さん

かと考えていました。そして、昨年第一回目の制作展を開催することができました」と同公民館長の鈴木幸夫さん（74歳・六軒町一丁目）。

同公民館は、六軒町一丁目・二丁目の自治会が合同

で管理運営しています。同町では、公民館と育成会などが積極的に協力して催しを行っています。公民館が主催で行っている、夏の盆踊りや（冬のもちつき大会などは、育成会が協力して、多くの子どもたちが参加。また、夏休みのラジ体操などは子どもたちだけでなく、高齢者も参加しています。このように、高齢者から子どもまで多くの皆さんがさまざまな催しに参加し、交流を深めています。各世代が催しを通じてふれあうことにより、地域の大人たちが子どもたちと知り合い、声掛けを行うなど、地域の防犯にも役立っています。

これからも、地域の皆さんが世代を超えた交流を深めていけるように、公民館活動は続いていきます。



さまざまな世代の皆さんが見学に来ました

まちのできごと
川越市の面積は109.16km²

109パレット

きらびやかな服装でタイのダンス

9月23日、日タイ修好120周年記念イベントがクラッセ川越で行われました。このイベントは、「日タイ修好宣言」により正式に国交が開かれてから



市内在住の方も参加した、異国情緒あふれるタイのダンス

120年を迎え、日・タイ文化交流川越市民実行委員会の主催で開催されました。当日は、タイ大使館の皆さんなど



ローイ・クラトン体験教室に参加した皆さん

も参加。会場には約500人が訪れ、タイの観光地などを紹介するパネル展示、ローイ・クラトン（灯ろう作り）体験教室、タイのダンスや日本の祭り囃子などが披露されました。会場では、タイ文化を肌で感じることができました。

小江戸の徳川家康が大江戸に見参！

9月29日、日比谷公園（千代田区）周辺で行われた江戸天下祭に、脇田町・徳川家康の山車が参加しました。当日は、関東各地から山車が14台・みこしが9台集結。午後4時に日比谷公園を出発し、丸ビルまでの約2kmにわたって山車が順行しました。

丸の内のオフィス街を通る家康の山車は、どこか誇らしげ。勇壮さとけんらんさは、多くの観光客の目を引きつけます。丸ビル前では、飯能市原町自治会・神武天皇の山車と曳っかわせを行い、ひととき大きな歓声がわき起こりました。山車の前後では、パンフレットを配って川越まつりのPRも忘れません。受け取った皆さんの興味深げな顔に、川越まつりへの観光客の増加も期待できそうです。



川越まつりのパンフレットを配布する舟橋市長



高層ビルの谷間を順行する、徳川家康の山車



同大会女子シニア部門で優勝した飯島さん（右）と西垣さん（左）

習を共にし、世界大会女子シニア部門で優勝した飯島友美さんのように、世界大会での優勝を目指し、練習を続けていきます。

「バトンと体の動きをどのようにすれば、大きく美しく見えるか、考えながら演技をするのが楽しいです」と西垣さん。練習を共にし、世界大会女子シニア部門で優勝した飯島友美さんのように、世界大会での優勝を目指し、練習を続けていきます。

西垣さんは、八月にカナダで行われた世界バトントワリング選手権大会女子ジュニア部門で三位に入りました。



ポーズを決める西垣さん

西垣直美さん（16歳・小仙波町四丁目）

かわごえ
越
び
と
40